

## 常任理事会だより

### 山川智之

本稿では、前号で報告後、平成26年3月14日、4月25日、5月17日、6月27日に開催された計4回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動についてご報告します。

#### 1. 通常総会の開催および仮監事、監事の選任について

5月18日、日本透析医会通常総会が開催されました。その内容と主な決定事項は本号に掲載のとおりですが、通常総会に先立ち、3月26日に監事今忠正氏が逝去し監事の法定員数を欠くことになったため、仮監事の選任を東京地方裁判所に申し立てを行い、4月9日付けで同裁判所より春日井市民病院院長の渡邊有三氏が選任されました。通常総会では、渡邊氏および鳥飼総合法律事務所弁護士・公認会計士の岩崎文昭氏の二名を新たに監事としてご選任頂きました。監事人事につきましてご心配をおかけしたことをお詫びします。なお、通常総会は一昨年より研修セミナーと同時開催としており、今年も多数のご出席をいただきました。誠にありがとうございました。

#### 2. 第19回透析保険審査委員懇談会について

日本透析医学会学術集会の期間中の6月13日に、神戸におきまして全国の透析関連の保険審査委員、支部長の先生などにご出席いただき第19回透析保険審査委員懇談会が開催され、今年度診療報酬改定に関する問題など、長時間にわたり活発な議論が行われました。例年お忙しいところご出席いただいた先生方には御礼申し上げます。詳細につきましては12月発刊予定の日本透析医会雑誌29巻3号でご報告させていただく予定です。

#### 3. 第15回災害時情報ネットワーク会議について

日本透析医学会学術集会開催期間中の6月15日に、神戸におきまして第15回災害時情報ネットワーク会議を開催しました。ご多忙中参加していただきました先生方には厚く御礼申し上げます。会議の内容につきましては、12月発刊予定の日本透析医会雑誌29巻3号でご報告させていただく予定です。

#### 4. 各種アンケートに関するお願いについて

透析施設の感染性廃棄物処理に関するアンケート調査、4月の消費税引き上げに伴う影響の実態調査、10月以降の特定除外制度廃止による影響の実態調査を会員施設対象にすでにお願ひ、または今後お願ひする予定にしております。大変お手数をおかけするアンケートばかりで恐縮ですが、今後行政との交渉において、実情に即したデータを持っていることはきわめて重要な材料になります。ご理解のうえご協力頂ければ幸いです。

#### 5. 透析医療の自主機能評価指標の公開について

日本の透析医療は世界で最も優れた治療成績を誇ってきましたが、引き続き医療費削減政策などにより、透析医療の質が脅かされる懸念が高まっています。また患者の権利意識の高まりや、医療情報の氾濫などにより、客観的な医療の診療内容や質の評価の公開が求められる社会情勢となり、医療の広い分野で診療内容の公開が進み、医療の質の指標作りが始まっています。

これらの状況を鑑み、日本透析医会では、日本透析医学会の全面的協力の下で進めているグランドデザイン作成事業の一つとして、透析医療の自主機能評価指標を自施設のホームページ上に自主的に公開することを推奨することとしました。項目は日本透析医会の会員、日本透析医学会の先生のご意見も参考にさせて頂き、医療の質の3要素である Structure, Process, Outcomeのうち、Structureを中心に自主申告するという形にし、日本透析医学会のガイドラインに準拠した指標も一部導入しました。

公開する内容もさることながら、公開するという医療者としての姿勢が重要と考えております。フォーマットは日本透析医会 HP で公開しており、また日本透析医会施設会員であるかどうかは問いませんので、趣旨をご理解のうえ、多数のご施設にご協力頂ければ幸いです。

#### 6. 日本透析医会研修セミナーについて

昨秋の大阪での開催に引き続き、秋の研修セミナーは、巻頭のご案内の通り、「英知を結集し透析療法に新たな潮流を」をテーマに、札幌市のホテルニューオータニイン札幌で10月19日（日）開催の予定です。お誘い合わせのうえたくさんのご参加お待ちしております。

#### 7. 平成26年度日本透析医会公募研究助成について

今年度も腎不全医療、特に透析医療を推進するための学術研究に対し、公益事業の一つとして日本透析医会より公募研究助成を行います。詳細については、巻頭のご案内、またはホームページをご参照ください。